

令和4年度 第7回「一木地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和4年5月15日（日） 13：30～14：30

場 所：一木公民館

参加団体等：一木地区振興協議会、一木壮年会、一木体育協会、一木社会福祉協議会、いちき福祉会、一木鶴友会、一木地区各町内会長、公民館長など

発言【1】

- (1)白山総合車両所の地下道から8号線一木交差点に至る宮保開発線の歩道工事が進んでいない、早くできないか
- (2)（仮称）白山総合車両所ビジターセンターに向かう宮保開発線と松本・木津線では制限速度を守らない車が多いので、例えばバンプを設置するなど、在所部分だけでもスピードを抑える取り組みができないか
- (3)学童ポテトクラブの改築の場所は何処か

【市】

- (1)工事はなるべく早く行うようにしたいと思います。
- (2)白山警察署に問い合わせたところ、「現状を確認し、取り締まりを含めて検討する。」との回答を頂いております。バンプの設置については、集落内では有効だと思いますが、除雪作業が難しくなるので、それに代わる手段がないか研究いたします。
- (3)松任トマトクラブ、ポテトクラブは令和4年度中に移転改築を行います。移転場所は、松任小学校に近接している場所で選定中です。詳細が決まり次第ご報告したいと思います。

発言【2】

- (1)県道三日市・松任線の中村から8号線までの拡幅工事について
- (2)米永町から8号線に抜ける県道沿い交差点の信号設置のお願い
- (3)あかねこども園登園のため県道三日市・松任線で（宮丸交差点から松任駅方面に向け）右折レーンが無い。国道・県道の交通安全対策に関し支援をお願いしたい
- (4)松任総合運動公園について、サッカー場とテニスコートのタイルが欠けている。改善をお願いしたい。

【市】

- (1) 県道の改良につきましては、国道 8 号線 6 車線化の改修計画の決定に基づき、進んでいきますので、国・県へ連携をお願いしてまいります。
- (2) 同交差点への信号機設置要望について、市民の皆様から多数頂いています。その都度警察へ問い合わせをしていますが、信号機の設置基準は、全国で統一されており、同交差点への設置は難しいと聞いております。
- (3) 右折車線が設置できるか検討し、県に要望したいと思っております。
- (4) 同じタイル製品が無いことや滑り止め効果を考えて、階段部のタイルはすべて剥がしてコンクリート階段とする工事を予定しております。剥がしたタイルは屋内運動場周りのタイルの補修に使用する予定です。タイルに限らず補修は別枠で予算を組んでおり、トイレや水栓バルブなど、補修箇所は随時工事しています。

発言【3】

村井町内会エリアに「ペットの葬儀場兼ペットカフェ」の看板が立つが、葬儀場ということで煙等の不安があるので、地域住民に対する説明会の開催を勧めてもらえないか

【市】

用途規制上、法に抵触していない計画建物ではありましたが、特殊なものであることから、3月下旬頃に事前相談があった段階から地元との調整を十分にすることを促しております。

なお、建築確認については、建築基準関係規定に適合していることから令和 4 年 5 月 23 日付で確認済証を交付しております。

企業等から進出に関する話があった際には、町内会等地元向けに説明するよう助言していきたいと思っております。

発言【4】

今年度まちづくり支援事業に採択され「安心して暮らせる一木まちづくり」として高齢者見守りシステムを導入しました。今、市が導入している 1 対 1 の見守りシステムではなく、(一木地区で取り入れた)この町内会で見守るシステムに対する補助をぜひ来年度実現してほしい。見守り事業は、町内会・地域で対応せざるを得ない時代になったことを勘案して、ぜひ力添えをいただきたい。

【市】

一木地区での効果を検証した上で、有効であれば他の地区の導入も併せ補助事業として検討してまいります。高齢化社会における独居老人や老々介護などの問題が、

一木地区での取り組みをモデルとして、どのようなことが起こるか、どのような体制が必要か明らかになると思います。来年度直ぐとはいかなくとも、このシステムは非常に有効な方法だと思いますので、先進地として頑張ってください。

発言【5】

- (1)外国人雇用に関して今後の方向性について
- (2)外国人住民ともっと深く交流ができるようにならないか。

【市】

- (1)外国人雇用については、国での検討課題になります。現在国内での少子化の状況では、今後は外国人労働者をきちんと雇用していく方向になっていくのではないかと推測されます。
- (2)市及び国際交流協会では、受講者の日本語レベルに応じた日本語教室を年間500回近く実施しているほか、着物の着付けや茶道などの文化体験講座や外国住民向けの市内モニターツアーを開催し、日本語を学ぶ機会や本市を知る機会等を提供しています。
また、国際理解講座の開催や地域における日本語交流会の開催支援などを通して、多文化共生のまちづくりを目指しております。